



陣屋小だより

学校教育目標

かしこく
やさしく
たくましく

令和6年7月1日
第4号

文字で伝えることの難しさ (SNSトラブルに注意)

校長 保戸田雅之

梅雨入りから約一週間が過ぎ、一学期も残り3週間ほどとなりました。梅雨の合間の晴れは、一気に気温が上昇して危険な暑さになり、熱中症も心配です。体調管理に気を配りつつ、一学期のまとめをしっかり進めたいと思います。



さて、次のAさんとBさんの会話を、読んでみてください。

A 「さっきは、ごめんね。」

B 「もういいよ。」

Bさんの言葉をどんな感じで読んででしょうか。いろいろな捉え方があります。

1 「もうだいじょうぶです。ゆるします。」

【了承の意思表示】

2 「もういいかげんにしてくれ。ゆるさない。」

【完全拒否の意思表示】

3 「もうどうでもいいよ。しらないよ。」

【あきらめ・無視の意思表示】

目の前に相手がいれば表情や声の感じなどで気持ちが分かりますが、これが声でなく、メールやSNSなどの文字だけだと、間違っただけで伝わってしまうことがあります。表示された言葉の意味の取り間違いでトラブルや喧嘩になったり、発信者はそんなことを思っていないくても、知らぬ間に相手を傷つけ友達関係がぎくしゃくしてしまったりというようなトラブルがとても多くなっています。

A 「映画、観に行かない。」

(映画を観に行きませんかと誘っている。)

B 「なんで行くの。」

(映画館までどんな交通手段で行くのか尋ねている。)

これも、実際にあったトラブルの例だそうです。Aは映画に誘い、Bは交通手段を尋ねています。ところが、Aは、「なぜ映画なんかに行かなくてはならないのか。」と、Bに断られ嫌われたと勘違いしてしまったそうです。

スマートフォンやパソコンは、離れていてもコミュニケーションできるとても便利な道具ですが、伝わり方をよく考えて発信しないと大変なことになってしまいます。

自分専用のスマートフォンを持っているという児童の数が年々増えていますが、小学生は、言葉の使い方、理解の仕方が十分ではありません。どんなトラブルに巻き込まれるかという危機感も薄いです。スマートフォンなどの使い方やSNSの利用の仕方についてご家庭で十分に話し合い、約束を決めて、子どもたちの日々の様子には十分配慮いただけますようお願いいたします。

「埼玉県ネットトラブル注意報」と検索をすると、県のHPで紹介されている事例を見ることができます。トラブルを防止する対策をしっかり整えて、安心・安全な夏休みを過ごしてほしいと思います。

スモールガーデン花植え

6月14日(金)、学校応援団の保護者の方々にご協力いただき、スモールガーデンと昇降口付近の花の植え替え作業を行いました。業間休みには、環境整備委員会の5、6年生も合流して花苗を植えました。

短い時間ですが、保護者の方と子供たちが共同で作業を行う機会は、とても有意義だと思います。

今後も、親子清掃や親子除草など参加していただける機会をつくっていきます。

